

## レファレンス コーナー

### 朝鮮民主主義人民 共和国の経済

#### 二階宏之

朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮）の経済は、旧社会主義経済圏の崩壊と一九九〇年代中盤の自然災害により産業基盤が瓦解し自力更生が不可能となった。配給制と消費財供給体制はほとんど麻痺し、年間約一〇〇万トン程度の食糧が不足している状況である。金正日政権が一九九八年から主張してきた強盛大国の建設と体制安定のためには、政治・軍事部門を中心とした経済難の克服が最優先の課題となっている。その一環として昨年の七月一日に経済管理改善措置を断行した。その内容は、価格・賃金の大幅引き上げ、国家計画樹立権限の下部機関への委任、工場・企業所への経営自立性の付与、社会保障体系の改編（配給制の実質上の廃止）というものである。その後、九月には新義州特別行政区、十一月には金剛山観光地区、開城工業地区を指定した。今年に入り、財

政不足を補うために約五〇年ぶりに北朝鮮住民に政府公債を発行することを決め、農民市場の名称を「市場」と呼ぶようにするなど、七・一経済管理改善措置をいっそう具体化している。このような一連の改善措置にもかかわらず、当初意図しなかったインフレーションや供給不足、貧富格差の拡大などの問題が生じている。ここでは、このような北朝鮮の経済事情を理解するためにいくつかの資料を紹介してみたい。

#### (1) 北朝鮮経済全般・動向

経済全般について知るためには、概説的な資料がわかりやすい。環太平洋問題研究所編『韓国・北朝鮮総覧二〇〇二』（原書房 二〇〇二年）は主に通貨・金融、産業部分に関し、ラヂオプレス編集部編『北朝鮮の現況』（ラヂオプレス）は経済、産業指標を中心にまとめている。小此木政夫編著『北朝鮮ハンドブック』（講談社 一九九七年）は、政治や経済をテーマごとにまとめている。また、伊集院敦著『金正日——「改革」の虚実』（日本経済新聞社 二〇〇二年）は、現在の北朝鮮経済を読み解くために参考になる。最近の動向に関しては東アジア貿易研究会『東アジア経済情報』や、朝鮮総連の機関紙である『朝鮮時報』（朝鮮新報社）が詳しい。

#### (2) 研究論文

経済に関する研究論文は希少であるが、まず、梁文素著『北朝鮮経済論——経済低迷のメカニズム』（信

山社 二〇〇〇年）があげられる。経済開発過程における低迷の解明や他の社会主義国との比較研究に焦点を当て、断片的資料・数値や脱北者からのインタビューなどから、長期的趨勢で北朝鮮経済を分析している。次に、木村光彦著『北朝鮮の経済——起源・形成・崩壊』（創文社 一九九九年）は、長期的視野を重視し、植民地時代まで研究範囲を拡大して経済分析している。利用した資料は朝鮮戦争中に米軍が奪取した文書や、北朝鮮で出版された文献である。最近の経済難に関しては、林一信・小牧輝夫編『苦難の行進——金正日時代の政治経済展望』（アジア経済研究所 一九九七年）がよい。第三次七カ年計画（一九八七—一九九三）の失敗、エネルギー、食糧事情など、一九九〇年代に入ってからの問題を中心にまとめている。また、中川雅彦『朝鮮民主主義人民共和国における企業連合の形成』（『アジア経済』第四三巻第一号 二〇〇二年一月）は、一九八〇年代までの連合企業所の形成過程を分析しており、北朝鮮の経済管理システムを理解できる。

#### (3) 日朝貿易・対外経済関係

日朝貿易は現在の取引量は少ないが、一九五六年から開始された長い歴史を持つ。必読文献は李燦雨著『日朝経済協力の方案』（ERINA 二〇〇二年）である。日朝貿易の歴史や日朝国交正常化交渉の過程、将来の日朝経済協力の方案などを詳し

く説明している。渡辺利夫編著『北朝鮮の現状を読む』（日本貿易振興会 一九九七年）や日本貿易振興会海外経済情報センター『北朝鮮の経済と貿易の展望』（日本貿易振興会 一九八〇—二〇〇〇年）は、対外経済関係や日朝経済関係を中心にまとめている。北朝鮮の貿易制度を知るためには、慶南大学極東問題研究所『北朝鮮貿易研究』（成甲書房 一九八〇年）がよい。定期刊行物で進めたいのは、前述した東アジア貿易研究会『東アジア経済情報』である。毎月の日朝貿易の概況、最近の北朝鮮経済状況が載せられており、最近の動向を知るうえで重要な資料である。

#### (4) 自立的民族経済

北朝鮮経済を理解するためには、北朝鮮体制の根底をなしている、自力更生、自立的民族経済を理解する必要がある。そのためには、北朝鮮側で出版された文献が参考になる。いくつか資料があるが、現代朝鮮問題編集委員会編『社会主義朝鮮の経済』（現代朝鮮問題講座ⅡⅤ）（二月社 一九八〇年）、チョソン民主主義人民共和国社会科学院経済研究所編『チョソンの自立的民族経済建設』（外国文出版社 一九七六年）、朝鮮民主主義人民共和国科学院経済・法学研究所編『朝鮮における社会主義の基礎建設』（新日本出版社 一九六二年）などが詳しい。

（にかい）ひろゆき／アジア経済研究所図書館